

現在・未来のくらしに役立つ情報誌

総務省



MIC

Ministry of
Internal Affairs and
Communications

MIC MONTHLY MAGAZINE

5

2025 May
Vol.293

P.2

特集

独立行政法人 シンポジウムを 開催しました

MIC NEWS 01

P.10 もうすぐ、電波の日と情報通信月間です！

MIC NEWS 02

P.12 「情報アクセシビリティ好事例 2024」を
公表しました！

地域 DX のヒント

P.14 都道府県と市町村が連携した DX 推進体制の
構築に向けたデジタル人材確保プロジェクト

P.6 地方のかがやき

日高村 高知県

立夏

新緑が生い茂り、
夏の兆しが見えはじ
めるころ。沈下橋の周り
では、釣りやカヌーなど川
遊びをする人で賑わいます。

表紙の写真：名越屋沈下橋（高知県日高村）

独立行政法人シンポジウムを 開催しました

- ◆独立行政法人は、国の政策を実現するため、法律に基づいて設置されるもので、現在、86の法人があります。
- ◆急激な人口減少社会に突入し、担い手不足が深刻化していくことが予想される中でも、独立行政法人は、国民生活の安定と社会経済の健全な発展に向けて、社会環境の変化や政策の動向に柔軟に対応しつつ、質の高いサービスを継続的に提供していくことが重要です。
- ◆そのために求められる独立行政法人のマネジメントに関し、①独立行政法人評価制度委員会が期待することおよびその実現を支えるために委員会が果たす役割についてお伝えするとともに、②法人の将来像を見据えて積極的にトップマネジメントに取り組んでいる事例を基に議論を深めるため、今年2月10日に「独立行政法人シンポジウム」を開催しました。

プログラム

○基調講演

「独立行政法人に期待するマネジメント～民間企業における
トップマネジメントの経験から～」

澤田道隆独立行政法人評価制度委員会委員長
(花王(株)特別顧問)

○パネルディスカッション

「独立行政法人の将来像を見据えたトップマネジメント」



開会挨拶を行う長谷川総務大臣政務官



独立行政法人のトップである理事長を含め、約200名の方々に会場にお越しいただきました。

基調講演

「独立行政法人に期待するマネジメント
～民間企業におけるトップマネジメントの経験から～」

澤田道隆独立行政法人評価制度委員会委員長（花王（株）特別顧問）

◆独立行政法人内のマネジメント・内部統制の在り方への期待

- ・主務大臣が示す使命・ミッションを踏まえた法人自身のビジョンの明確化と実践
- ・社会経済環境の動きに合わせた機動的かつ柔軟な対応
- ・国民からの信頼確保、監事機能を活用した内部統制の強化

主務省・法人間や法人内のコミュニケーション、法人の資産である「ヒト」が持てる力を最大限発揮できるような環境作り、社会変化に対応して変革し続ける力が求められるのではないかと。

◆民間企業におけるトップマネジメントの在り方（良質な経営をするための要素）

- ・資産の最大活用とリスク低減を目指せる「経営デザイン」
- ・部分から類推し、全体を見て迅速な動きに変える「経営の大局観」
- ・大局観を間違わないようにするための「本質思考」

独立行政法人のトップマネジメントの在り方にも共通するもの

◆独立行政法人評価制度委員会が果たす役割

- ・法人の横断的な業務運営の改善に資するよう、取組事例を収集・展開
- ・独立行政法人の業務・内部管理の共通的な方向性（業務の優先順位付けや DX などによる業務の効率化を促進した上で、必要なリソースを確保すること など）を提示

法人の政策実施機能の最大化の実現に向けて、「攻め」と「守り」の両面からサポート（法人の中期目標、業績評価等をチェックするだけでなく、積極的に取り組む法人を後押し）



基調講演を行う澤田委員長

パネルディスカッション

「独立行政法人の将来像を見据えたトップマネジメント」

パネルディスカッションでは、国民生活の安定と社会経済の健全な発展に貢献することが求められる独立行政法人から、3名の理事長をお招きし、法人の将来像を見据えたトップマネジメントの具体的な取組を紹介いただいた後、パネリストによる活発な議論が交わされました。ここでは、その概要を紹介します。

【各法人の取組概要】

◎教職員支援機構 荒瀬理事長 「NITS の試行錯誤」

- ・小規模法人ながら、全国 108 万人もの「教職員の資質の向上」というミッションの達成に向け、職員が、関係者と連携・協働しながら主体的かつ意欲的に仕事ができるよう、試行錯誤
- ・職員の探究的な学びを支える健全な職場環境づくりや仕事のやりがいを高めるため、可能な限り仕事を委ね、信頼し、しっかりコミュニケーションをとるマネジメント

◎医薬品医療機器総合機構 藤原理事長 「PMDA の将来像実現に向けた、トップとしての取組み」

- ・PMDAでの仕事を通じて「人々の健康を守る」、「医療などの現場をよりよくする」との使命やモットーを職員に発信
- ・全職員との面談を通じて組織の課題を把握した上で、10 年後を見据えた組織目標の設定、ガバナンスの再構築、DX の推進等を実施

◎農業・食品産業技術総合研究機構 久間理事長 「農研機構の研究開発戦略 ～理事長として目指すもの～」

- ・農業・食品版「Society 5.0」のスピーディな実現のため、組織目標を提示し、徹底的な組織改革を実施、AI・データを研究に導入
- ・産業界・農業界との連携強化により機構の技術の実用化と普及を促進するとともに、組織のプレゼンス向上のため、戦略的広報を実施。また、人材の流動化を目的としたマルチ人材育成プログラムを開始



司会 原田委員長代理

【原田委員長代理】 独立行政法人制度がスタートして四半世紀になります。最初の10年は組織の統廃合の歴史、最近10年は業務追加の歴史と私は整理しております。今回は、①比較的小規模ながら、その業務の先にはたくさんの教職員がいる教職員支援機構（NITS）、②業務追加により組織が急成長してきた中規模法人の医薬品医療機器総合機構（PMDA）、③組織の統廃合の歴史を持つ大規模法人の農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）の3法人をお招きしました。

これらの特徴を踏まえたトップマネジメントの取組について、委員の皆さまはどうお感じになったでしょうか。



パネリスト 横田専門委員

【横田専門委員】 理事長それぞれに、短期間で、個性的に変革を実行されていると感じました。課題感を持って短期間で変革を進める上で、組織・職員をどのように巻き込むか、それにあたり苦労され

た点、主務省とのコミュニケーションの取り方など、押さえるべきポイントはどのようなところでしょうか。



パネリスト 藤原理事長（PMDA）

【藤原理事長（PMDA）】 変革のためには、一体感を醸成することが重要です。そのためには、出向者、プロパー職員や様々な職種の職員がいる中で、組織の将来像について一人ひとりに腹落ちしてもらうことが必要です。他方、10年選手が製薬企業等に転職してしまう状況にあり、幹部候補生を育てるための戦略的人事には苦労しています。主務省との関係では、所管部局のみならず、関係者と広く、また密に連絡を取って問題点を共有し、方向を同じくすることが大事だと思います。



パネリスト 久間理事長（農研機構）

【久間理事長（農研機構）】 研究開発法人として、国益に資する研究が重要であることを丁寧に職員に伝えました。成功例をつくるのは大変ですが、様々な分野の関係者と連携し、実用化を進めました。トップが絶対に「ぶれない」とい

うことも必要です。主務省との関係では、大臣をはじめ省のトップクラスを現場にお招きし、機構の戦略をお伝えして意見交換したり、毎月、担当局長との打合せを行ったりしています。

【金岡委員】 法人のマネジメントスタイルや重視するステークホルダーは誰かといった、法人運営の実情把握には時間がかかると思いますが、変革にあたってどのように現状把握をされたのでしょうか。



パネリスト 金岡委員

【久間理事長（農研機構）】 役職員の生の声を聴く機会を持つようにしました。理事を複数の研究所の担当責任者とする仕組みに変えたことで理事と研究所との議論が活発化し、私はその理事から頻度高くヒアリングを行っています。また、全国の研究拠点にも出向き、現場職員から地域の実情を把握するようにしています。

【荒瀬理事長（NITS）】 多くの職



パネリスト 荒瀬理事長（NITS）

員、監事など様々な関係者と対話し、気づきを得るようにしています。小さい組織ゆえに組織を把握できている「つもり」にならないよう、自らの視座を常に疑うことも大事だと思います。

【澤田委員長】 時として、ボトムアップの取組が、トップからみると不足を感じるなど、トップダウンとボトムアップの両立は難しいと思いますが、上手にバランスをとる秘訣はあるでしょうか。また、職員一人一人が仕事の面白みを見いだすための後押しとして、どのような取組をされているでしょうか。



パネリスト 澤田委員長

【荒瀬理事長（NITS）】 ボトムアップで上がってきたものをトップが仕立てていく、ボトムアップあつてのトップダウンであり、その中でトップとしては、様々な意見を聞きつつ、「ぶれない」ことが大事だと

思います。また、我々の仕事の面白みは、職員が企画した研修に参加した教職員の方々が変容し、その姿から職員が気づきを得て、学んでいくことにあると思っており、この学びを大事にすることや、その場をどう調えるかを常に意識しています。

【藤原理事長（PMDA）】 変革のすべてをトップに期待しないこと、ボトムアップを奨励した上で、責任はトップがとるということを常に職員に発信しています。面白みについては、我々の仕事の先にいる患者さんの生の声を全職員に聞かせて仕事のやりがいを感じてもらうことを大事にしています。また、サンキューカードなどを活用した心理的安全性の向上にも努めています。

【澤田委員長】 お話を伺い、トップが自分の方向性を示しつつ、職員とうまく対話をし、お互いが尊敬あい、気づきを得ながらレベルアップしていくことが非常に重要で、また、ボトムアップが最後はトップダウンに結びつくのだと思いました。

また、仕事はうまくいくときもい

かないときもありますが、時に称賛したり、時に練習し直す場を設けたりしながら、職員が活躍できる舞台をうまく用意できると、おのずと「やってよかった」という、やりがいが出てくるので、そういったことに日頃から取り組まれているのだと感じました。

【原田委員長代理】 本日の議論、私は、自身の役職である大学教員、また学部長の立場としても大変勉強になりました。

望ましいトップマネジメントの最初の手がかり、それは、いかにして職員の声を傾聴するか、ということではないでしょうか。次に、主務大臣や他の独立行政法人、民間企業なども含め、上下左右のコミュニケーションをとること、そして三つ目には、幹部の方々、また職員と目線を合わせていくこと、遠くを見たり、上を見たり、そうしたことを一緒にやっていくこと、これらが非常に大事だと感じました。

独立行政法人評価制度委員会では、これからも、様々な取組を積極的に支援し、後押しをしてまいりたいと考えています。本日の議論が、皆さまにとって参考になれば幸いです。

○パネリスト

荒瀬 克己	教職員支援機構（NITS）理事長
藤原 康弘	医薬品医療機器総合機構（PMDA）理事長
久間 和生	農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）理事長
澤田 道隆	独立行政法人評価制度委員会 委員長
金岡 克己	独立行政法人評価制度委員会 委員 （（株）スカイインテック特別参与）
横田 響子	独立行政法人評価制度委員会 専門委員 （（株）コラボボ代表取締役）

○司会

原田 久	独立行政法人評価制度委員会 委員長代理 （立教大学法学部長）
------	-----------------------------------

当日の様子は、総務省のYouTubeチャンネルで公開しています。ぜひご覧ください。

シンポジウム再生リスト



各法人の発表資料





仁淀川は、国土交通省による全国一級河川の水質ランキングで、計8回日本一に選ばれた(平成24年～平成28年、令和元年～令和3年)。仁淀ブルーを間近に見ながら約50分の船旅が楽しめる「屋形船仁淀川」も人気。

水の
まち



日高村名産のシュガートマトは、平均糖度8以上の甘さが魅力。JA高知県 日高支所が導入した日本初の光センサーにより1つ1つ測定し、基準をクリアしたトマトだけが名乗ることができる。現在、約20戸の農家が栽培している。

トマト
の
まち



「日高村オムライス街道」には、国道33号沿いを中心に11か所の飲食店が参加。それぞれの店舗が日高村産のトマトや地場の野菜を使った創作オムライスを提供し、様々なイベントも随時開催している。

オムライス
の
まち



地方の
かがやき

清流・仁淀川が流れる
子育てしたい
老後も住みたい村

日高村

高知県



Hidaka-Village Profile

高知県の中部に位置する日高村。北側に仁淀川が流れ、村の中央を東西にJR線と国道33号が並行して走っている。主な産業は農業。村名は「日本」と「高知県」から1文字ずつ取ったことに由来する。

人口：4,709人(令和7年1月末現在)

面積：44.85 km²

URL：<https://www.vill.hidaka.kochi.jp/>



高知市から車でわずか30分の距離にありながら、豊かな自然に恵まれた日高村。村の北側を流れる仁淀川は、その透き通った青さが“仁淀ブルー”と称され、屋形船やSUPなどのアクティビティが国内外の観光客を惹きつけています。

特産品も多く、昭和60年には村をあげて高糖度のブランドトマト「シュガートマト」開発に成功。平成26年には、地元産トマトを使った村おこし事業「オムライス街道」を始めるなど、“トマト村”として知

村の駅ひだか 地元産の朝採れ野菜や果物、加工品が揃い、収穫期にはシュガートマトも並ぶ。オムライスやカツピラフなどを提供する飲食店も併設。



なごやちんかばし
名越屋沈下橋



仁淀川の最下流に架かる全長191mの橋は、絶景のフォトスポット。橋ごと水中に沈むことで流木などが橋の上を流れやすくなり、橋自体が壊れにくい。



霧山茶

仁淀川の近く、標高230mの錦山に広がる「霧山茶園」で栽培している土佐茶は、香り豊かでまろやかな味わい。焙煎や茶筒作りなどの体験もできる（要予約）。



日高酒蔵ホール

明治時代に建てられた「旧松岡酒造」の建物を改修したホール。夏祭りや収穫祭などのイベントや、アーティストによるコンサートなどに活用されている。

名度を高めてきました。他にも、中四国地域最大級の茶園で栽培される霧山茶や国内シェア50%を誇る芋けんぴ、文化財の修復にも活用される世界一薄い和紙などがあります。

一方で、300年を超える村の歴史は、水との戦いの歴史でした。度重なる台風や豪雨に見舞われ、そのたびに対策工事を行ってきました。現在は放水路建設に加え、流域全体での安全性を高める「流域治水」にも取り組み、水害に強い村づくりを進めています。

インフラツーリズム

令和6年に完成した3本目の放水路「新日下川放水路」が新たな観光資源に。トンネル内を徒歩で見学したり、カヌーでのんびり進んだり、多彩なプランを計画。



猿田洞

土佐のねずみ小僧とも例えられる義賊的な忍者・日下茂平が修行したとの伝説が残る石灰石の洞窟。全長1,420mのうち、150mが探検用に整備されており、這ったり登ったりとスリル満点の洞窟探検が楽しめる。



小村神社・秋の大祭

土佐国二宮として位置付けられた小村神社で、毎年11月15日に開催される。国宝の「金銅荘環頭大刀」を拝観できるのはこの日だけ。

国宝「金銅荘環頭大刀 拵・大刀身」

小村神社の御神体。製作年代は古墳時代末期の7世紀前半と推測され、太刀としては日本最古の伝世品といわれる。昭和33年、国宝に指定。



笑顔あふれる安全安心な村づくりを目指して



高知市中心部から西へ16kmにあり、清流仁淀川と豊かな自然に恵まれ国宝の大刀を有する本村は、特産のトマトを使ったオムライス街道やスマホ普及率100%を目指すデジタル化の取組、関係人口を創出し移住につなげる取組などで村の良さを生かし、新しい時代に応じた村づくりを進めるとともに、災害に強い村づくりに取り組んでいます。

日高村長 松岡一宏



都市部の人と田舎を
つなぐプラットフォーム

「いきつけいなか」

移住に興味がある人を対象にした地域お手伝い・求人サイト「いきつけいなか」を開設。サイトを運営する一般社団法人nosson代表の小野加央理さんは、「移住する人だけでなく、村の外から応援してくれる関係人口を増やすのがねらいです」と話します。令和4年に開設してからボランティアやイベント、地域おこし協力隊に参加した人は350人以上。ふるさと納税などの関わりも含めると1,000人以上が村のCRM(顧客管理システム)に登録されています。「目標は、村の人口と同じ4,700人の関係人口を創出することです。」



地域おこし協力隊(期間1～3年)の募集も複数掲載されている。



短期間のボランティアを通して、村を知ってもらうのがサイト開設の目的。



小学生が放課後に過ごす場として「茶道クラブ」「折り紙教室」などを開催。



地域おこし協力隊OBの岡さん一家。現在は古民家カフェを営む。



挑戦する人をサポート
村独自の支援も充実
移住&子育て支援



「ホンネ居酒屋」を定期開催



行政担当者や先輩移住者がオンラインで相談に乗りイベントもあり、気軽に相談できる。

少子高齢化が進む日高村では、移住促進プロジェクトを推進しています。平成28年度から、最長3年の地域おこし協力隊制度を導入。ビジネスのプロによる指導を受けながら、隊員同士で学び合える「寺子屋」制度を設けるなど、隊員の“やりたいこと”を応援する仕組みを整えています。

また、子育て世帯へのサポートも充実しています。一般的な子育て支援に加え、村独自の施策として「不妊治療費等助成事業」「乳幼児・児童医療費の助成」「5歳児発達支援」の3本柱を実施。妊娠中からこどもが成長するまで、切れ目のない支援を行っています。

日高村が独自に実施している支援策

事業名	概要
不妊治療費等助成事業	不妊治療・不育症治療を受けられたご夫婦に治療に要した費用の一部を助成
乳幼児・児童医療費の助成	0歳児から18歳のこどもが、入通院にかかる医療費で健康保険が適用となる分の自己負担額を助成
5歳児発達支援	村内保育園年長児を対象に、小学校への移行がスムーズにできることや安心した小学校生活が送れるよう保育園から小学校への途切れない支援体制づくりを行う



日高村
の取組

3

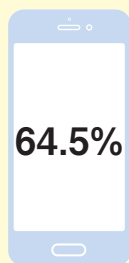
日本初！スマホ普及率100%への挑戦 村まるごとデジタル化事業

令和3年にKDDI 株式会社、株式会社チェンジと包括協定を締結し、スマホ普及率100%を目指す自治体宣言を行いました。DX化促進の一環として、住民全員がスマホを持ち、日常的に活用できる環境が必要と考えたのです。

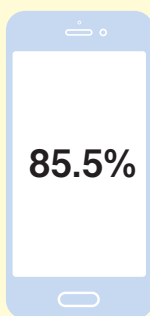
令和2年当時のスマホ普及率は64.5%。特に高齢者層では「必要ない」「使い方がわからない」「価格が高い」との理由から敬遠する人が多い状況でした。そこで、公民館や集会所などでスマホ教室を開催し、実質0円で購入できるキャンペーンを実施。その結果、スマホ普及率は85.5%（令和4年6月）へと大幅に上昇しました。現在は村民の3人に1人が村のLINE 公式アカウントや健康アプリを利用し、地域情報の取得や健康維持にも役立てています。



不安や疑問を解消するために、村内80か所以上でスマホを教える教室を開催。各所に出張販売所も設置した。



スマホの名目
普及率が3年で
20ポイント
以上増加！



まだスマホを持っていない方へ

今ならchica ポイントプレゼント!!

3G 0円 / 4G 12580ポイント

5000ポイント

無料

- ・ガラケーからスマホへの切替え (3G)
- ・アプリ設定サービス (携帯会社問わず)
- ・スマホの貸出
- ・料金見直しや相談
- ・スマホ教室

スマホに関するご相談がございましたら、お気軽にサンシャイン日高村へお越しください。分かりやすく丁寧に説明させていただきます。

日高村指定のスマホ受付会場 **サンシャイン日高店**

期間中無休
9月まで毎日受付中!!
高知県高岡郡日高村本郷196
受付時間・10:00~17:00
Tel.070-2300-5030
来店前に電話予約をいただくとスムーズです

スマホへの切り替え等で地域通貨がもらえ、実質0円となるキャンペーンを実施した。



令和5年に、歩数や体調、血圧などを記録できる健康管理アプリ「まるけん」を提供開始。

※事業開始前（令和2年5月）と令和4年6月のアンケート調査より算出
開始前全住民を分母対象に算定



夢を応援して
声をかけてくれる
人々の温かさ
も魅力です

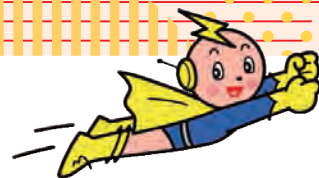
日高村地域おこし協力隊
ケルビー咲野さん
ケルビージョンさん

大学卒業後11年間スコットランドで暮らしていましたが、自然豊かで静かな環境に惚れ込んだ夫の希望で、私の故郷である日高村に移住しました。現在は夫婦で、クラフトビール醸造所設立に向けて奮闘中。皆さんが「ビールできた?」と声をかけてくれるのがうれしいですね。娘たちものびのびと育ち、土佐弁がすっかり上手になりました。



夫妻と長女、次女の4人家族。川で遊んだり花火大会を見たりと、村暮らしを満喫中。

もうすぐ、 電波の日と情報通信月間です!



総務省は、第75回「電波の日」(本年6月1日)および第41回「情報通信月間」(本年5月15日から6月15日まで)にあたり、電波監理、電波利用または情報通信の発展に貢献した個人および団体に対して、総務大臣、情報通信月間推進協議会会長から表彰を行う予定です。

また、本年の情報通信月間のテーマは、「**デジタルで 変える社会が 未来を創る**」です。

総務省としても、様々な取組を通じて、情報通信の発展が人々の利便性を高め、経済発展に寄与することなどについて、国民の皆さまのご理解を求めていると考えております。

■電波の日・情報通信月間 表彰の様子



令和6年度電波の日・情報通信月間 記念中央式典

表彰内容

- 1 「電波の日」 総務大臣表彰 (個人/団体)
- 2 「情報通信月間」 総務大臣表彰 (個人/団体)
- 3 情報通信月間推進協議会会長表彰
(志田林三郎賞/情報通信功績賞)

電波の日とは?

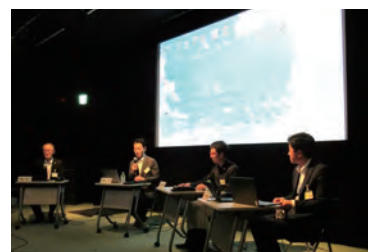
昭和25年6月1日に、電波法、放送法が施行され電波の利用が広く国民に開放されました。これを記念して、広く国民全体の電波に関する知識の普及・向上と、電波利用の発展に役立つよう、6月1日を電波の日として制定したものです。

■昨年度情報通信月間の行事の様子



●ケーブル
コンベンション 2024

●ICTフェアin東北 2024



●2024年度「情報通信の
安心安全な利用のための
標語」表彰式典

情報通信月間とは?

昭和60年4月の情報通信の制度改革を機に、情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられました。5月15日から6月15日の期間中は、全国各地で様々な行事を実施し、豊かな生活を実現する情報通信について広く国民の皆さまの理解と協力を求めていることとしています。

お問い合わせ先

情報通信月間の参加行事は

<https://www.jtgkn.jp/> (情報通信月間ホームページ)をご覧ください。



ワイヤレス キミのスマホやイヤホンの

ぎてき
技適マークをチェック!



STOP THE 不法電波!

知ってる? 技適マーク 

技適マークは、電波法で定めている
技術基準に適合した無線機器である
ことを証明するマークです。
無線機器を買う時、使う時はちゃんと
チェックしてね!



見えない電波を守る見えるマーク

電波に関する困りごと、ご相談は下記までお問い合わせください。

北海道総合通信局 (011)737-0099	信越総合通信局 (026)234-9976	近畿総合通信局 (06)6942-8535	九州総合通信局 (096)312-8253
東北総合通信局 (022)221-0641	北陸総合通信局 (076)233-4447	中国総合通信局 (082)222-3332	沖縄総合通信事務所 (098)865-2308
関東総合通信局 (03)6238-1939	東海総合通信局 (052)971-9107	四国総合通信局 (089)936-5051	

アニメーションCM公開中!



総務省

<https://www.tele.soumu.go.jp/>

詳しくは 総務省 電波利用

検索

「情報アクセシビリティ 好事例 2024」を 公表しました！



情報アクセシビリティ好事例

誰もがデジタル活用の利便性を享受し、豊かな人生を送ることができる社会の実現のためには、ICT機器・サービスの情報アクセシビリティの確保が重要です。総務省では、

- ①国民全般に広くアクセシビリティに配慮した製品を知っていただくこと
- ②情報アクセシビリティに特に配慮している企業等やその取組を奨励すること

を主な目的として、令和5年度からの新たな取組として情報アクセシビリティ好事例を募集し、企業からの応募資料とオンライン形式での発表による審査を経て、「情報アクセシビリティ好事例」として16件を公表しました。

【審査委員の総評の概要】

昨年度に続き、好事例を公表することは、情報アクセシビリティに配慮したICT製品・サービスやそれに関わる企業等の前向きな取組を広く周知することとなり、障害当事者を含む多様な者がデジタル活用の利便性を享受し、豊かな人生を送ることができる社会の実現に資するものと考えられる。今後も、企業等における情報アクセシビリティへの取組の広がりを大いに期待したい。

(各審査項目に基づく審査概要)

●製品の情報アクセシビリティへの配慮

一般向けで情報アクセシビリティ対応に努めている製品は、複数の製品において、専門職を含む様々な職種の人々が従事・活躍することを視野に入れた工夫がなされている点を評価。

一方、いわゆる福祉的な支援機器・サービスは、スマートフォンのポテンシャルを生かし、利用者の個別ニーズに合わせて実際に使えるところまで総合的に支援する取組や、独自の網膜投影技術を用いた機器により弱視者に対し文化芸術分野の鑑賞を新たに実現した点も高く評価。

●当事者ニーズを踏まえた開発

障害者団体や外部機関との連携、障害のある職員によるチェックや開発への参画、専門家の助言を受けた開発、製品が利用される現場（学校や企業など）のニーズに応じた開発などの取組を評価。

また、開発後の製品提供段階でも、電話、メール、チャットでの問い合わせ対応、カスタマーサポートと連携し、障害者からの意見を取り入れて対策を講じる体制構築など、当事者が製品やサービスを理解しやすいようにサポート体制を整備している取組も評価。

●企業としての情報アクセシビリティ確保に向けた取組

アクセシビリティ向上のための専門部署、横断的なチームや合理的配慮委員会の設置など全社的、組織的な取組を評価。また、社内チェックリストの作成、アクセシビリティ研修や定期的な勉強会など社員に対する啓発や研修への継続的な取組を評価。

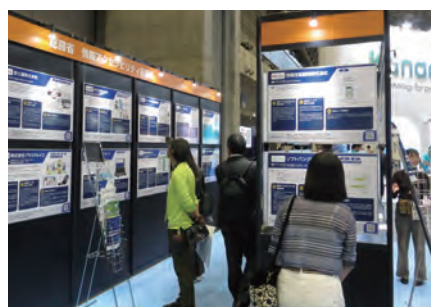
●今後さらなる配慮を期待したい点

製品自体の情報アクセシビリティ配慮は優れているものの、当事者の生活への浸透や普及は課題。障害者だけでなく、より幅広い層への普及を目指すという発想の転換を行うことで、障害者にも使いやすい製品の市場での流通を期待。

また、今年度の特徴の一つは、いわゆるプラットフォーム事業者（同種のサービスを実施する複数の企業、行政機関、資格試験主催者等に場を提供することで利用者へのサービス提供を支える）からの応募があったこと。こうした事業者が情報アクセシビリティへの取組を推進することは、ユニバーサル社会の実現を効果的に進めるものとして期待するとともに、今後は、「場」のアクセシビリティだけでなく、そこで扱われる「情報」もアクセシブルにしていくことを期待。

12月23日開催 審査会の様子

各企業からの応募資料とオンライン形式でのプレゼンテーションによって審査を行った。



CEATEC2024での「情報アクセシビリティ好事例2023」展示の様子

「情報アクセシビリティ好事例 2024」選定製品一覧 ※企業名50音、アルファベット順

企業名	製品名	製品概要 ※各社資料より抜粋
株式会社グラファー	Graffer スマート申請	あらゆる行政手続きをいつでもオンラインで行うことが可能なサービス
東芝テック株式会社	e-BRIDGE Plus for Voice Guidance	視覚に頼らずにコピー操作ができる機能を備えた複合機
フリー株式会社	freee 支出管理 小口現金	小口現金出納帳をデジタルで一元管理し、リアルタイムで確認することを可能にするサービス
フリー株式会社	freee 人事労務：アプリで勤怠入力・給与明細閲覧	従業員が、日々の打刻や勤怠入力、給与明細の確認等の日常的な作業を手元で簡単に操作することができるスマートフォンアプリ
フリー株式会社	freee 人事労務 健康管理	従業員が、ストレスチェックを受ける際、手元で簡単に操作することができ、受診等の進捗管理をデジタルで一元管理し、リアルタイムで確認することができるスマートフォンアプリ
プロメトリック株式会社	試験配信ソリューションのウェブサイト	コンピュータによる試験実施(CBT/IBT)および関連するソリューションを提供している試験配信・評価ソリューションのプロバイダーの受験者・試験主催者団体向けウェブサイト
弁護士ドットコム 株式会社	クラウドサイン	契約書をアップロードし、相手方が承認するだけで契約を結ぶことが出来るクラウド型の電子契約サービス
株式会社 リモートアシスト	視覚障害者 Android 端末『エルビーフォン』	目の見えづらい方にお使いいただけるよう様々な工夫が施されたスマートフォン。専門相談員がお客様のご希望をお伺いしてお一人ずつカスタマイズする。
Dynabook 株式会社	アクセシビリティ向上ソフトウェア「せつていのとびら」	教育の現場で児童・生徒の、一人ひとりの特性に合わせた設定変更が可能なアクセシビリティ向上ソフトウェア
株式会社 Helpfeel	Helpfeel	クラウドで提供する検索性に優れたFAQシステム
KDDI 株式会社	au Ponta ポータル	Pontaパスやau PAY、au PAYカードなどの各種サービスの利用に応じてためる、つかうことができるPontaポイントに関する情報をご案内するWebサイト
KDDI 株式会社	au ビジュアルガイド	スマートグラスを用いた映像による解説サービス
Nuevos Sistemas Tecnológicos S.L. dba NaviLens	NaviLens GO (ナビレンス GO)	ナビレンスコードを読み取り、視覚的かつ直接的な情報確認を可能にするアプリ
株式会社 QD レーザ	網膜投影視覚支援機器 RETISSA ON HAND	網膜投影技術を手軽に利用できる手持ち型の視覚支援機器
株式会社 SmartHR	スキル管理システム	従業員のスキルやそれを裏づける資格の情報を管理するシステム
Uni-Voice 事業企画 株式会社	耳で聴くハザードマップ	視覚障がい者がハザードマップの内容を理解できるよう、地図面の情報を音声で提供するサービス

審査結果はこちら
情報アクセシビリティ好事例2024



情報アクセシビリティ支援ナビ
(Act-navi)





都道府県と市町村が連携したDX推進体制の構築に向けたデジタル人材確保プロジェクト

地域DXのヒント第14回では、13回に引き続き「都道府県と市町村が連携したDX推進体制の構築」についてご紹介します。

推進体制の構築に当たっての課題として、「①デジタル人材の採用に必要なノウハウが十分ではない」、「②確保できるデジタル人材の質・量ともに十分ではない」、「③確保した人材の行政実務に関する基礎知識（議会対応・予算等）が不足しており、十分に活躍できない」との声も寄せられているところ。

こうした課題を踏まえ、総務省においては、「都道府県と市町村が連携したDX推進体制の構築に向けたデジタル人材確保プロジェクト」を、以下の通り、推進しております。

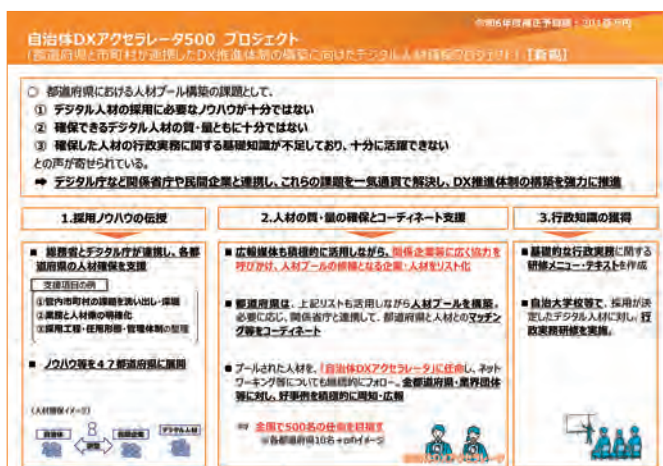
①の課題について：管内市町村の課題の洗い出し・深堀、人材像・

業務の明確化、人材確保方法の検討、採用工程・人材の管理体制の整理～人材の確保の各ステップについて、支援を必要としている都道府県を伴走支援。

②の課題について：企業等をターゲットにした広報媒体も積極的に活用し周知するとともに、関係企業等に広く協力を呼びかけ、人材プールの候補となる企業・人材をリスト化。

③の課題について：基礎的な行政実務に関する研修メニュー・テキストを作成・公開するとともに、自治大学校等で、採用が決定したデジタル人材に対し、行政実務研修を実施。

各都道府県における推進体制構築に向け、引き続き、上記プロジェクトをはじめとした支援を行っていきます。



編集後記

editorial note

5月号をお読みいただきありがとうございます。どうぞいします。

今回、地方のかげやきで紹介したのは高知県日高村です。高知駅から電車で30分ほどのアクセスのいい村で、青色の美しい仁淀川やオムライス街道など名物がたくさんあります。令和6年に完成した新日下川放水路は、災害時に

村を守るだけでなく、平時には日高村の災害の歴史などを学べる内部見学ツアーも開催されています。

日高村はスマホ普及率100%の目標を掲げました。また、健康アプリや地域通貨アプリなどをダウンロードしてもらうなど、日常的にスマホを使って慣れてもらうことにも力を入れています。必要な

時にスマホを抵抗感なく使ってもらうためにも役立つ取組だと感じました。

末尾になりましたが、今回ご協力いただきました皆さまには心より感謝申し上げます。

(広報室 C.H)

さあ、一緒に！ 国勢調査員 大募集



令和7年10月1日に

国勢調査を実施します

日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、最も重要な統計調査です！

5年に一度、全員参加の統計調査



国勢調査2025



地域の未来の
ために！



暮らしを
より良く変える力に！



地域の人と
話す機会に！



自分のペースで
働ける！



詳しくは、お住まいの市区町村の
統計調査担当窓口までお問い合わせください。

国勢調査2025キャンペーンサイト

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

国勢調査2025

検索



総務省統計局・都道府県・市区町村

覚えて! 使って! ワイドFM

雨宮 天



音がクリア!

高音質な音声で、より聴き取りやすい

○ ワイドFMが受信できます

FM 76 80 86 **90 95 108**MHz

✕ ワイドFMが受信できません

FM 76 80 82 84 86 **90**MHz



災害時でも安心!

アンテナが安全な場所にあるから安心

全国47の全AMラジオ局は、FMでも放送しています!

AME.FME
HBCラジオ
AM1287 FM91.5

STVラジオ
AM1440 FM90.4

RABラジオ
91.7 92.7 93.3 98.8

IBCラジオ
AM684 FM90.6

IBCラジオ
FM93.5 AM1260

ABSラジオ
AM936 FM90.1

YBC RADIO
AM918 FM92.4

rfcラジオ福島

TBS RADIO
FM90.5 AM954

文化放送
FM91.6 AM1134

FM93 AM1242
ニッポン放送

CRT 栃木放送
FM100.0 AM1000

Lucky FM
FM88.1/94.6

ラジオ日本
FM92.4 AM1422

BSNラジオ
FM92.7 FM94.8

SBCラジオ
91.2 92.2 94.2

YBSラジオ
FM90.9 AM765

SBS RADIO

KNBラジオ
FM90.2 AM738

MROラジオ
AM1107 FM94.0

FBCラジオ
FM 94.4/94.6

CBCラジオ
93.7 FM AM1053

TOKAI RADIO
FM92.9 AM1332

きふちゃん
AM1431 FM90.4

KBS京都Radio
94.9 114.3

MBSラジオ
AM1179 FM90.6

ABC Radio
AM1008 FM93.3

ラジオ大阪 OBC
FM91.9 AM1314

ラジオ関西
AM558 FM91.1

和歌山放送
FM94.4 AM1000

BSSラジオ
松江FM87.1 鳥取FM92.2

RSKラジオ
AM1494 FM91.4

RCC
AM1350 FM94.6

FM92.3 86.4
瀬戸内海側 日本海側

JRT 四国放送
AM1269 FM93/93.9

RNC Radio
FM90.3 AM1449

Fnam 南海放送
FM91.7 91.2

RKC RADIO
AM900 FM90.8

RKBラジオ
FM91.0

KBC RADIO
FM92.3

NBCラジオ
FM92.3

RKKラジオ
FM91.4 92.3 92.5 92.6

OBSラジオ
FM93.3

mtラジオ
FM90.4 FM94.7 AM738

MBCラジオ
FM92.5

RBCiラジオ

ラジオ沖縄
FM93.1 AM854

